

ガス機器使用時は、換気（給気と排気）をしましょう

⚠️ ご注意

ガスが燃えるには新鮮な空気が必要です。換気（給気と排気）が不十分な状態でガス機器を使用すると、酸素が不足して、不完全な燃焼となり、**有毒な一酸化炭素（CO）が発生し、中毒となる恐れがあります。**

キッチンで

コンロや小型湯沸器をお使いになる時は、必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気しましょう。小型湯沸器は安全装置が付いていても必ず換気しましょう。コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら再点火を繰り返さず点検修理をお申込みください。

**お部屋で**

ファンヒーターをお使いになる時は1時間に1～2回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。

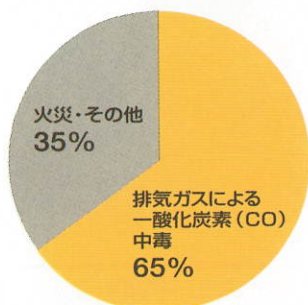


換気扇が汚れていると換気能力が低下します。換気扇を定期的に点検・清掃してください。

ガスの使用にともなう人身被害は、一酸化炭素（CO）中毒事故の割合が高い！

ガスが燃えるには新鮮な空気が必要です。しかし、閉めきった室内で換気扇も回さずにガスを使用していると、燃焼するための酸素が不足して、不完全な燃焼状態となり、有害な一酸化炭素（CO）が発生する可能性があります。これが事故発生の大きな原因のひとつになっています。

人身被害の理由別割合（人数比）



（経済産業省／平成19年～23年消費段階の事故発生状況等より）

一酸化炭素（CO）は無色・無臭 知らないうちに吸い込んで、 死にいたることも…

- 一酸化炭素（CO）は、無色・無臭。気づきにくく、毒性は強力で、少量の吸引でも危険です。
- 軽い中毒症状は頭痛・吐き気など、風邪に似ていますが、手足がしびれて動けなくなることがあります。
- 重症になると、脳細胞を破壊したり、意識不明になったり、死亡にいたることもあります。

空気中の一酸化炭素濃度（CO(%)）と吸引時間による中毒症状

CO(%)	呼吸時間による中毒症状
0.04	1～2時間で前頭痛や吐き気、2.5～3.5時間で後頭痛がします。
0.16	20分で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5～10分で頭痛・めまい、30分で死亡
1.28	1～3分で死亡

こんな使い方は大変危険!

5

⚠️ ご注意

ガステーブルコンロ

揚げものをしているときやグリルを使用しているときは、その場から離れないことが大事です。来客や電話などでその場から離れるときには、必ず火を止めてください。また、使用中にはコンロの火が着火に着火しないようご注意ください。

揚げ物はセンサーの付いている側でおこなってください。



火災の原因になります。



メーカー純正品以外の部品（ガスコンロ用省エネリングなど）の使用は、不完全燃焼による有害な一酸化炭素（CO）中毒を起こす原因となる場合があります。

小型湯沸器

小型湯沸器の長時間連続使用は不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。



浴槽、洗濯機への給湯はおやめください。



シャワー、洗髪はおやめください。

ガス暖房機器

ガスストーブやガスファンヒーターの付近には、スプレー缶や衣類など燃えやすい物は置かないでください。小さなお子さまがいるご家庭ではやけどなどにご注意ください。



火災の原因になります。



低温やけどになる恐れがあります。

衣類乾燥機

ご使用前に衣類をお確かめください。

油分の付着した衣類は、洗濯後も油が完全に落ちていない場合があります。油の酸化発熱により自然発火する恐れがありますので、ポリプロピレン繊維製の衣類や下記の油分が付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機で乾燥させないでください。



油分が付着した衣類は乾燥させない

- 美容オイル（ボディオイル、エステ系のオイルなど）
- 食用油、機械油、動物系油
- ドライクリーニング油、ベンジン、シンナー
- ガソリン、樹脂（セルロース系）

⚠️ ご注意…波板などで囲わないでください

- 屋外に設置されたガス機器を増改築により、屋内化したり、波板などで囲うことは大変危険です。

⚠️ ご注意…工事中はガス機器を使わないでください

- 増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備をビニールシートなどで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。



新鮮な空気が不足し、不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒や、ガス機器の故障の原因となります。